

Webサイトのお知らせ

学生ボイスなども充実!  
会報誌と連動して、  
充実したコンテンツをお届けします!

今すぐアクセス!



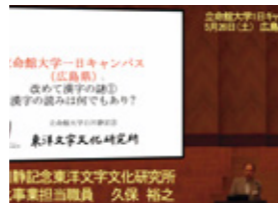
父母教育後援会の公式サイトでは、会報と連動したコンテンツを展開しています。  
学生ボイスなども豊富に掲載しているのでぜひアクセスしてみてください。

pick up  
1



学生メッセージ  
誌面に登場した学生  
の動画によるメッ  
セージをご覧ください。

pick up  
2



アカデミック講演会  
Movie  
日本全国で開催され  
たアカデミック講演会  
の様子を動画でご覧  
いただけます。

pick up  
3



アカデミック連載企画  
「近江の風土記」  
日本史・宗教史がご  
専門の本郷教授によ  
る連載企画を毎月更  
新しています。

アクセスはこちら!

父母教育後援会  
<http://www.ritsumeai-fubo.com/>  
立命館大学HP→保護者の方

立命館 父母教育後援会

検索



■会員の住所変更について

本誌は、学生が学部へ届け出ている保証人住所宛に送付しています。保証人住所を変更される場合は学生本人による手続きが必要です。

学びステーションまで学生証を持参の上、手続きするようお子さまにお伝えください。

※最近、立命館や関係団体等の名刺を利用した悪質なビジネス等が横行しております。  
父母教育後援会は、会員の照会を学生には一切行っておりませんので、くれぐれもご注意ください。



2018年度  
冬号

特集

# 学園祭レポート

ゼミナール訪問

クラブ&サークル Watching

知への扉 ~教員インタビュー~

識者の視点「防災とまちづくり」

卒業生からの手紙

あるある R探検隊

父母教育後援会の活動紹介

近江の風土記

私たち、  
今日も元気です。

今号の1枚



### 「100円朝食の新たな仲間」

主に産業社会学部が地域振興活動に取り組む京都市右京区の京北地区の京野菜を使った新しい100円朝食の仲間が登場しました。大きさや傷などで流通には乗らないけれどおいしい京野菜を使ってスープを作ることで、京北地区と学生のWin-Winの関係を築いています。



立命館大学と京北地区とのつながりについては、後日改めて会報内の記事で紹介します。どうぞ楽しみに！

## Contents

特集

# P2 学園祭レポート

- P7 ゼミナール訪問
- P11 クラブ&サークルWatching
- P13 知への扉 ~教員インタビュー~
- P15 識者の視点「防災とまちづくり」
- P17 卒業生からの手紙
- P19 あるあるR探検隊
- P21 父母教育後援会の活動紹介
- P25 近江の風土記
- P26 Information



## 学園祭レポート

OIC

衣笠

BKC

10月14日(日)大阪いばらきキャンパス、11月11日(日)衣笠キャンパス、11月25日(日)びわこ・くさつキャンパスで開催された立命館大学の学園祭。ここでは当日の様子をご紹介します。



# 大阪いばらきキャンパス

2018年10月14日(日)

## O I C



地域と共に歩む大阪いばらきキャンパスの学園祭には、子どもたちからお年寄りまで、たくさんの地域住民の皆さまが訪れ、学生と交流しながら様々なイベントに参加していただきました。

ミスキャンパスファイナリストが学園祭に華を添えました!



# 衣笠キャンパス

2018年11月11日(日)

## 衣笠



秋の紅葉が美しい京都・衣笠キャンパスの学園祭には、たくさんの保護者の皆さまが訪れ、学生たちのステージパフォーマンスや模擬店、教室展示などを楽しんでいました。

仲間と一緒に盛り上げました!



チアダンスで応援!



子どもたちとかけっこしました!



ゼミの研究内容を紹介!



落語で盛り上げました!



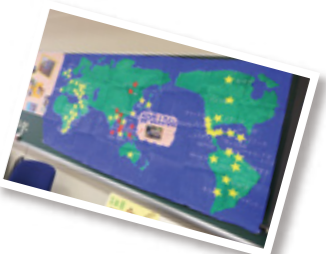
和楽器に触れてみよう!



広告の魅力を感じてほしい!



目指すは世界大会!



国内外で活動してます!



BLENDERS  
ダンスパフォーマンス



陸上競技部  
かけっこ教室



サトウタツヤゼミ  
サトゼミトライアル



落語研究会  
立命寄席



邦楽部  
和楽器体験



広告研究会  
かいじゅうさん展



ダブルダッチ同好会  
dig up treasure  
路上パフォーマンス



国際ボランティアサークル  
Rits BLOH  
Rits BLOH展 2018

# びわこ・くさつキャンパス

2018年11月25日(日)

## B K C



◆ セントラルステージをはじめ広大な敷地を誇るびわこ・くさつキャンパスの学園祭では、各所に設けられた野外ステージで迫力満点のライブが行われました。

### 学園祭オリジナルキャラの リッツ・ブラザーズ登場!



人力飛行機で  
琵琶湖の大空へ!



人工知能と  
サッカーで対戦!



心に響く  
ハーモニーをあなたに!



子どもたちに  
理科教室を開催!

飛行機研究会RAPT  
ミニ鳥人間コンテスト

情報理工学部プロジェクト団体  
Ri-one  
サッカーシミュレーション2D

アカペラサークル Song-genics  
路上ライブ

ライフサイエンス研究会  
理科教室

私たち学生が  
学園祭を作っています!



学園祭実行委員会 委員長  
鶴田 大輝さん

### 学生の手で作り上げる学園祭。 がんばる姿を見てほしい。

私たち学園祭実行委員会は、およそ1年かけて学園祭の準備を進めてきました。今年度のテーマは「Be hungry.」で、現状に満足するのではなく、向上心を持ってより高みを目指そうという私たちの姿勢を表しています。来場者の皆さまにとっても、一つの企画で満足するのではなく、次から次へ新しいものに触れて知的好奇心を満たしてもらえよう学園祭にしたいと考えています。特に保護者の皆さまにとっては学生たちが普段どんなことをがんばっているのかを見ていただく絶好の機会だと思いますので、私たちとはまた違った視点から学園祭を思いきり楽しんでいただけたら幸いです。



マスコットキャラクター「リッツ・ブラザーズ」は子どもたちに大人気。



手作りのオリジナルパンフレットも配布しました。

### 秋の オープン カレッジ

### 保護者の皆さま向けのイベント也大盛況!

会員の皆さまを学園祭にご招待したところ、実にたくさんの保護者の皆さまにご来場いただきました。模擬店チケットやキャンパスツアーもたいへん好評で、「活き活きとした学生の姿に元気もらった」「学生の案内でキャンパスが見学できて面白かった」とのお声をいただきました。たくさんのご来場ありがとうございました。



父母教育後援会から会員の皆さまに500円分の模擬店チケットをプレゼントしました。



学生スタッフが見どころをご案内するキャンパスツアーもたいへん好評でした。

Webで  
さらなる学生Voiceを  
配信中!





**山下 芳樹**

産業社会学部 教授

滋賀県立膳所高校教諭から弘前大学、広島大学を経て立命館大学産業社会学部へ。教職大学院も担当する。「理科教育に強い小学校教員の育成」に取り組んでいる。



**山下 芳樹ゼミ**

●衣笠キャンパス 産業社会学部

テーマ 「学習者の系統的学びを引き出す教材・教具の開発とその実践」

理科の素材を用いた実験教室「リカリッチ」を地元小学校や立命館小学校の児童に提供している。ゼミの学生は教員志望者が多く、「リカリッチ」を通じて子どもたちとの接し方や成功体験の作り方などを実践的に学んでいる。

ゼミ生VOICE

**上田 理奈さん**  
私たちが作った教材を使って、小学生と交流しました。子どもの発想は柔軟でいつも私たちの予想を超えてくるので面白いです。

**梅村 陸さん**  
私は小学校教師を目指しています。「リカリッチ」での経験を活かして、エンターテイナーのような先生になりたいと思っています。

**河内 寛太さん**  
中学校の保健体育教師を目指しています。このゼミで実際に子どもたちとふれあいがら学べるのは素晴らしい勉強になっています。

**四方 綾典さん**  
将来は小学校の教師として、理科はもちろん、他の教科にも興味を持ってもらえるような授業ができる力を身につけたいと思います。

**天明 真由さん**  
「リカリッチ」の開催に向けては、ただ楽しいだけではなく、どうやって理科の教育要素を取り入れるのかを試行錯誤してきました。

**野木 裕太さん**  
山下先生は私たち学生の意見を尊重してくれて、いいところは必ず褒めてくれるので、がんばる意欲が湧いてきます。

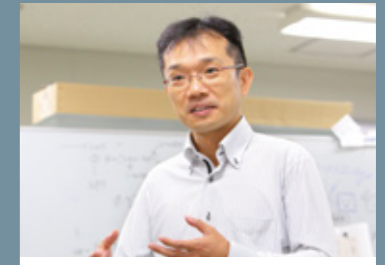
**福井 綾乃さん**  
「リカリッチ」で人に教える面白さを実感しました。将来は子どもに限らず、教育に携わる仕事に就きたいと思っています。



PICK UP

**リカリッチ (理科Rich)**

「リカリッチ」とは、小学生と保護者の皆さまを対象に、理科の教育素材を利用して、NHK教育テレビ「ピタゴラスイッチ」のようなからくり装置を作るイベントです。



**久保 幸弘**

理工学部 教授

三菱電機株式会社で実務経験を経た後、立命館大学理工学部へ。信号処理、特にGPSなどの測位(航法)システムの測位アルゴリズムに関する研究を行っている。

**久保 幸弘ゼミ**  
情報通信システム研究室

●びわこ・くさつキャンパス 理工学部

テーマ 「GPSに関する信号処理とその応用」

GPSを用いた高精度な測位方法やスマートフォンの位置情報の高精度化など、「ナビゲーション」をキーワードに、衛星測位システム、センサ信号処理、画像処理などの研究を行っている。国内でGPSの測位技術そのものを取り扱う研究室は珍しい。

ゼミ生VOICE

**天野 裕介さん**  
GPSを使ったスマートフォンアプリに夢中になったことがきっかけで、GPSの位置測位に興味を持ち、この研究室を選びました。

**安ノ井 直明さん**  
近年ますますその用途が広がっているGPS。受信状況により測位しにくい時に、加速度から位置を測位するシステムの研究を行っています。

**植松 龍司さん**  
GPSの測位不良値を平準化し、位置情報の精度向上を目的とした信号処理の研究をしています。その技術を将来の仕事にも活かしたいです。

**榎本 貴仁さん**  
GPSの精度向上について研究しています。現状では使える環境に限られるので、他の測位方法と組み合わせることで測位の精度向上を目指します。

**北川 尚哉さん**  
複数の衛星システムを組み合わせる研究をしています。ハワイで現地の大学を訪問し、研究交流をしたことが思い出に残っています。

**坂田 悠里さん**  
現状のGPSでは、山間部や建物の陰によって測位誤差が大きくなってしまいますが、これをいかに改善するかについて研究しています。

**芝山 幸己さん**  
先輩方が親身になってくれる雰囲気に惹かれてこの研究室に入りました。ハワイでの研究発表や技術交流をしたことが思い出に残っています。

**SUN Jianfengさん**  
センサによる航法と衛星測位による航法について研究し、互いの欠点を補完し合えるような複合システムについて研究しています。

**角田 周平さん**  
先生は学生の目線に立って親身に指導してくれま。海外発表に挑戦する先輩もいるなど、尊敬できる「人」に恵まれた研究室だと思います。

**富岡 大起さん**  
人工衛星に興味があったのでこの研究室を選びました。人工衛星から受信する電波を正確に計算するための研究に取り組んでいます。

**長谷川 弘和さん**  
暮らしに身近なものとなったGPSについて、数学的な側面から研究できるのが魅力です。低コストでGPSの精度を上げる研究をしています。

**三村 大さん**  
日本版の衛星測位システム「みちびき」から得られる補正情報を用いて、高精度な測位を行うアルゴリズムを研究しています。

**宮迫 厚志さん**  
久保先生の人柄に惹かれて研究室に入りました。普段は明るく朗らかで、研究の話になると真剣になる、メリハリのある先生です。

**向 大地さん**  
ドローンでの配達など様々な可能性を秘めているGPSの応用技術。そのセキュリティの向上につながる研究をしています。

**吉田 明宏さん**  
深層学習(ディープラーニング)という人工知能に用いられているような最新技術を駆使した画像処理を用いて、都市部での衛星測位の精度向上を目指しています。





**平岡 和久**

政策科学部 教授

財政学、地方財政論を専攻しており、地域と自治体に関する幅広い問題を扱っている。近年では、地方財政改革、地方創生政策、自治体間連携などの研究を進めている。

テーマ 「新しい時代の地方自治と自治体行財政研究」

**平岡 和久**ゼミ

●大阪いばらきキャンパス 政策科学部

財政学・地方財政論のアプローチから地域の自治体の分析を行い、それを踏まえて地域政策を考えていく。南信州地域でのフィールドワークを交えた研究を重視しており、合宿調査などで地域の人々と交流しながら政策的課題を考えている。

ゼミ生VOICE

**池上 友梨奈さん**

長野県・昼神温泉地域でのフィールドワークで旅館を一軒一軒回り、インバウンド獲得のための多様な取り組みがあることを知りました。

**稲垣 奈津子さん**

先輩たちの発表が魅力的だったのでこのゼミを選びました。発表では毎回先生が細やかに指導してくれるので日々成長を実感しています。

**江波 明日香さん**

農業の6次産業化、つまり本来の1次産業、加工する2次産業、販売する3次産業までを考えて、現状の課題と解決方法を探っています。

**大原 萌さん**

フィールドワークを通じて地域の人々と交流できたことが印象に残っています。将来は地域活性化に関わる仕事に就きたいと考えるようになりました。

**大平 一輝さん**

長野県飯田市でのフィールドワークでは班に分かれて研究に取り組み、私たちは空き家・空き店舗問題の現状と解決策について研究しました。

**北口 祐希さん**

南信州地域における6次産業化について研究しています。フィールドワークで優しく接してくれた皆さんのために、研究成果を地方に還元したいです。

**佐々木 幹人さん**

地域経済や地方財政に関心を持って学んでいます。将来は経済産業省か農林水産省で国家公務員として働き、地方創生に貢献していきたいと思っています。

**嶋村 瑞穂さん**

長野県・昼神温泉地域におけるインバウンド観光の促進について研究しています。合宿で現地を訪れ、フィールドワークを実施しました。

**鈴木 暁さん**

地方都市における空き家の利活用について研究しています。長野県飯田市でのフィールドワークで他大学の学生と合同調査をしたのが印象に残っています。

**高橋 大貴さん**

フィールドワークで人と交流しながら地域の政策について研究することで、物事を様々な角度から考える力を身につけたいと思っています。

**田中 雄統さん**

地方財政に関心があったのでこのゼミを選びました。温泉街にはどのようなインバウンド観光のあり方があるのかに注目して研究しています。

**藤田 由季子さん**

地方再生に興味を持っています。長野県・昼神温泉地域でフィールドワークをして、インバウンドと地方創生をキーワードに研究しています。

**藤本 夏未さん**

フィールドワークで訪れた長野県・昼神温泉地域は素敵などころなので、ぜひ地域活性化に役立つアイデアを提供したいと思っています。

**西山 智裕さん**

行政の仕組みや取り組みについて実践的に学べるところがこのゼミの魅力です。また、地方に生きる人々と交流できたのは素晴らしい経験でした。

**吉瀧 敦也さん**

地方財政に関心を持っているので、観光地における観光政策について事例を交えて研究しています。将来は複数の事業を手がける起業家を目指しています。



**金森 絵里**

経営学部 教授

イギリスで会計学を学び立命館大学経営学部へ。現在の研究テーマは「エネルギーと会計」。2011年の原発事故をきっかけに、会計学の視点から日本のエネルギー問題を検証している。

テーマ 「企業の財務分析」

**金森 絵里**ゼミ

●大阪いばらきキャンパス 経営学部

このゼミでは実際の企業を取り上げ、その財務諸表など会計データから経営状態や経営課題などを読み解いていく。またその企業の今後の新しいビジネス展開について企画を作成し、プレゼンテーション大会などで発表する機会も設けている。

ゼミ生VOICE

**朝倉 誉さん**

グループに分かれて企業分析をしています。私の班は大手グルメサイトの経営課題を探っています。

**大谷 季央さん**

ゼミでの発表に向けてグループのメンバーの家に集まって準備をしたのが思い出に残っています。

**大塚 航太さん**

大手電機メーカーの財務諸表から、事業ごとの収益性がどれくらいあるのかを研究しています。

**小澤 洋祐さん**

グループのメンバーと工場見学に行くなど、フィールドにも出て研究に取り組んでいます。

**折元 裕さん**

先輩と交流できるので刺激があるゼミです。将来は公認会計士になって監査法人に入りたいです。

**金川 諒祐さん**

学生の自主性を大切にしてくれるゼミです。会計と経営のプロフェッショナルを目指しています。

**金子 涼夏さん**

先輩たちの笑顔が素敵だったのでこのゼミを選びました。懇親会なども豊富で仲の良いゼミです。

**窪田 遥さん**

主に大手グルメサイトの事例に基づいて、財務諸表の分析方法について研究しています。

**額瀨 はなみさん**

企業の財務諸表などの会計数値を読み解き、企業の経営状況や実態について調べています。

**KO Suhanさん**

大手IT企業グループの財務に注目し、近年の動向や将来性について研究しています。

**ZHU Wenjieさん**

財務諸表による企業分析で、日本の大手電機メーカーについて研究をしています。

**武田 恭弥さん**

会計学の勉強は難しいけれど、先生が優しく、親身になってわかりやすく指導してくれます。



**田畑 尚己さん**

会計や財務諸表について広く学べるのが魅力です。ゼミの学生はみんな意識が高く勉強熱心です。

**中村 友梨香さん**

公認会計士を目指しているため、資格の勉強と両立しながら企業分析の研究に取り組んでいます。

**羽石 麗亦さん**

発表の度にデータを集め、企画書を作るなど、たいへんではありますがやりがいを感じています。

**柘田 修希さん**

財務諸表分析が苦手だったのでこのゼミを選びました。将来は公認会計士になることが目標です。

**松木 朋哉さん**

このゼミでは公認会計士を目指す学生が多く、みんな目的意識を高く持って学んでいます。



**村田 裕士さん**

自分たちで企画書を作成して人前で発表をするので、やりがいと緊張感があるゼミです。

**山崎 奨真さん**

企業が開示する財務諸表から、その企業の安全性や収益性について分析しています。

**吉田 修也さん**

オープンゼミで見学した時に、先生と学生の関係が良さそうだったのでこのゼミを選びました。

**米田 和輝さん**

和製SNSからゲーム参入で業績のV字回復を果たした企業を取り上げ、会計学の視点から分析しています。

**Li Huayiさん**

会計のプロフェッショナルを目指しているためこのゼミを選びました。大学院進学を考えています。





アイスホッケー部

主将  
**佐藤 佑斗さん**  
スポーツ健康科学部4回生

厳しい練習を重ね、手応え充分。  
目標は全国大会ベスト8。

アイスホッケーは「氷上の格闘技」と呼ばれる激しいスポーツ。身体をぶつけてバックを奪い合い、相手ゴールに弾き入れるためにリンクを駆け回ります。立命館大学のアイスホッケー部は関西学生アイスホッケーリーグ戦1部Aで戦う強豪クラブですが、さらに上のステージを目指し、今年度からはリンクでの練習前に陸上トレーニングを取り入れました。厳しい練習を重ねた成果によって、近頃はチームに接戦を勝ち抜く粘り強さが出てきたと思います。直近の目標は日本学生氷上競技選手権大会でベスト16の壁を破ること。主将としてチームを鼓舞し続け、必ず目標を達成したいです。私を支え続けてくれる北海道の両親にも最高の結果を報告できるよう、最後まで戦い続けたいと思います。



びわこ・くさつキャンパスの近くの滋賀県立アイスアリーナが主な練習場。試合も行っているのでぜひ一度ご観戦を!



ソフトテニス部

男子主将 **大塚 勇輝さん** 経済学部3回生  
女子主将 **染川 恵里佳さん** 経済学部3回生

絆の強さならどこにも負けない!  
チームの力で悲願の日本一へ。

**大塚さん** 私たちソフトテニス部は、2019年に創部100周年を迎える歴史あるクラブです。全国大会や関西リーグ戦で結果を残すことを目標に練習に励んでいます。ソフトテニスはダブルスがメインなので、パートナーと息を合わせてプレーするところに醍醐味があります。夏の西日本インカレでは団体3位に入るなど結果も出ているので、悲願の日本一を目指してがんばります!

**染川さん** 女子部員は12名で他大学に比べると少人数ですが、関西秋季リーグでは準優勝するなど実力派です。個人戦で全国ベスト16に入った時は、部員全員がどこよりも大きな声援をくれて、まるでチームで戦っているような心強さがありました。どこよりも強い絆の力で、さらに上を目指していきたいと思っています。



ソフトテニス部はプレーする人も、応援する人も、全員で一つのチーム。部員一丸となって試合に臨んでいる。

立命館大学では約430のクラブ・サークルが、日々活発に活動しています。このコーナーでは課外活動に励む学生に、その魅力を語ってもらいます。



探検部

主将  
**磯野 祐紀さん**  
法学部3回生

山、川、洞窟をフィールドに、  
国内外で探検活動を実施。

私たち探検部は、国内外の山、川、洞窟をフィールドに測量や遺跡調査、生物調査など様々な探検活動を行っています。危険なイメージがあるかもしれませんが、私たちは隊員の安全確保を絶対条件にしている、万が一、不測の事態が起きても対処できる体制を整えた上で活動を行っています。私は主に洞窟をフィールドにしている、滋賀県の秘境と言われる「河内の風穴」を測量をしたり、アメリカやトルコで大規模な洞窟を調査したり、国内外で様々な活動をしています。一番の魅力は、これまでに見たことがないものを見たり、体験したりできることです。保護者の皆さまからするとご心配もあるかと思いますが、安全性の説明や渡航先からの定期連絡などできるだけの配慮をしていますので、温かく見守ってほしいと思います。



四国の竖穴で最深部に到達した時の写真。安全確保のための専門的な知識と装備を用意して、万全の体制で探検に臨んでいる。



Webで  
スペシャル動画を  
配信中!

新演劇研究会 劇団月光斜

代表(座長)  
**佐藤 礼央さん**  
文学部3回生

裏方仕事にもこだわる本格派。  
年4回の公演は学内外で大好評。

立命館大学に様々なジャンルの演劇団体がある中で、私たち劇団月光斜は歌やダンス、アクションなど、比較的派手なエンターテインメント作品を作っています。学生団体としては大所帯の40名以上の部員で活動しており、役者だけでなく、舞台制作や照明などの裏方をする部署や宣伝物を作成する部署などがあります。学生演劇は「素舞台」という役者と幕だけの簡素なものが多い中で、私たちは舞台の作り込みや照明、音響、衣装などにもこだわっていると特徴があると思います。年4回の公演には一般の方にも多数ご来場いただいでいて、毎回のように観に来てくださる方もおられます。演劇の魅力は映画にはない「ライブ感」だと思うので、皆さんもぜひ一度生の舞台をご覧になってください。



公演が近づくと練習や準備で大忙し。表方、裏方、広報など、部員同士で役割分担をしながら一つの舞台を作り上げている。



映像学部

# 望月 茂徳 准教授

専門——インタラクティブメディア

立命館大学には多様な分野の専門家である教員が揃っています。

「知への扉」では最先端の研究に取り組む教員をお招きして、その分野の魅力や可能性について語ってもらいます。

今回はインタラクティブメディアについて研究する映像学部の望月先生にご登場いただきます。

## 時代が求める新しい価値とは。 クリエイティビティの未来を探る。

### Profile

筑波大学第三学群基礎工学類卒業後、筑波大学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻単位取得。博士(工学)。独立行政法人情報処理推進機構より「天才プログラマー/スーパークリエイター」認定。



当日の詳細はこちら▶

6月に開催された「立命館大学1日キャンパス香川会場 アカデミック講演会」でもお話をさせていただきました。

立命館 父母教育後援会

検索

### 表現で人の暮らしを豊かにする、 新しい価値の創造を目指して。

Q. 望月先生の専門分野について教えてください。

メディアアートやデジタルアートなどのインタラクティブメディアを研究しています。情報技術を活用して体験型の映像作品やアート作品を作っているわけですが、用途は何もエンターテインメントに限ったことはありません。例えば、私が持っているこのインタラクティブぬいぐるみの「ててちゃん」は、子どもたちに新しい体験型の学びを提供するツールですし、障害者に対する意識のバリアを取り除きたくて作った「車椅子DJ」は、車椅子に「カッコいい」「おしゃれ」という新しい付加価値を生み出す画期的なデバイスです。このように介護、教育、子育てなど、様々な分野にも応用できるインタラクティブメディアを創造することによって、例えば、教育に楽しさを生み出したり、福祉にかつよさを取り入れたり、これまでになかった新しい価値を生み出したいと考えています。端的に言うと、人生をより豊かに、楽しくするために、新しい表現の可能性を開拓するというのが私の研究となっています。

### 馬鹿馬鹿しいことを真剣に。 そんな大人がいてもいいはず。

Q. なぜこのような分野を研究するようになったのですか？

私は大学時代に工学を学んでいたのですが、世の中を便利にするためのものづくりを研究していましたが、恩師と出会ったことがきっかけでアートとテクノロジーを結ぶ研究に興味を持つようになりました。そもそも世の中の役に立つ方法は、便利さを追求するだけではないと思います。一見すると馬鹿馬鹿しいような研究でも、もし人を笑顔にすることができる、あるいは辛い時に勇気づけてくれるようなものになればそれは新しい価値を創造したと言えるのではないのでしょうか。モノが豊かになった今だからこそ、インタラクティブメディアを通じてこれまでとは違う新しい価値を生み出していきたいと考えています。



「車椅子DJ」は、車輪をターンテーブルに見立てて、音楽を奏でながら乗ることができる。

### アートとテクノロジーの融合で、 新しい時代の問題解決を。

Q. 研究分野の魅力を教えてください。

世の中はどんどん便利になっていますが、だからといって悩みがなくなるわけではなく、新しい問題は次から次へと生まれています。アートとテクノロジーが融合した新しい表現を生み出すことで、現代社会の課題を解決することができるのであればそれは素晴らしいことです。特に私が注目する介護、教育、子育てなどは、「しんどい」ことも多い分野です。そんな時に私たちが生み出す新しい表現が、気持ちを前向きにしてくれたり、困難を解決してくれたりするかもしれません。そこに大きな魅力と可能性を感じています。

### クリエイティブマインドを胸に、 多彩な分野で活躍してほしい。

Q. 学生にはどんなことを期待しますか？

私の研究室からは実に多彩な分野に卒業生を輩出しています。例えば、時代をリードするデジタルコンテンツのクリエイティブ集団に入った卒業生、無人航空機を使ったファッションショーなどを展開する高級ファッションブランドでクリエイティビティを発揮している卒業生、ソムリエの資格を取得してワインの評価や選定をタブレットアプリで実現しようと挑戦している卒業生など、実にユニークでクリエイティブな進路を実現しています。もちろん、クリエイティブ系の進路でなくても学生それぞれが信じた道を進んでくれたらいいと思います。私が学生に期待するのは、このテクノロジーが成熟した時代の中で、クリエイティブマインドを胸に、強く生き抜き、できれば人にも生きる勇氣と力を与えてあげられるような人材として活躍してほしいということです。日本は今、大きな転換期を迎えていて、効率だけを追求する時代は限界を迎えているように思います。今こそ人の心を惹きつけるような研究が時代に求められているはず。どうか保護者の皆さまにもご理解いただき、学生たちを温かく見守ってほしいと思います。

### 先生の横顔



学生時代に留学生からアルゼンチンタンゴやサルサなど、ラテンダンスを習っていたという望月先生。留学先でもダンスを通じて人脈が広がり、言葉を超えたコミュニケーションの面白さを学んだ。





POINT OF VIEW

識者の視点

# 「防災とまちづくり」 ～歴史都市・京都に学ぶ～

## 歴史都市に学ぶ災害に強いまちづくりとは。

京都には古くから災害と生きる先人たちの知恵が息づいています。

自然災害の多い国に生きる私たち日本人は、

歴史都市・京都から何を学ぶべきなのでしょう。

立命館大学歴史都市防災研究所の大窪先生にうかがいました。

### 京都にある立命館だからこそ、 先駆けとなる提言を社会に。

#### ——歴史都市防災研究所はどのような研究所なのか？

大きな災害が発生しても、近代的な街並みは時間さえあれば再生できるかもしれませんが、京都に数多くある歴史遺産や街並みは失われたら二度と復元できなくなる可能性があります。京都に根ざす立命館大学が先駆けとなって、歴史都市の防災・減災について社会に提言するために名誉所長である土岐憲三先生が作られたのが歴史都市防災研究所です。今ある歴史都市が今日まで存続してきたのは数々の災害を乗り越えてきたからに他なりません。そのまちづくりには先人たちの知恵が詰まっており、その効果を現在の技術で改めて評価し、未来に活かしていくことが本研究所の使命であると考えています。

また、歴史都市の防災を考える上で、その文化的価値を保つことは重要な課題です。幸い立命館大学には歴史・文化に詳しい専門家である先生が多数在籍しているので、文理融合チームを結成し、研究活動と教育、人材育成に取り組んでいます。

### 防災と美しい街並みが共存する、 清水寺周辺の画期的な取り組み。

#### ——具体的にはどのような取り組みがあるのでしょうか？

私たちが注目する取り組みの一つに、清水寺と周辺地域の取り組みがあります。通常、屋外にある消火栓は消防士でも数人がかりで扱うものであるため、訓練されていない一般市民が有事の際だけ扱うのは容易ではありません。清水エリアのように木造建築が軒を連ねる場所で火災への初動が遅れると取り返しのつかないことになり、そもそも大規模災害なら消防がいつ来るのかもわかりません。そこで清水エリアでは、市民、行政、神社仏閣などが連携して市民消火栓を40基以上も設置しています。清水寺の境内にも国内最大級である1500トンの防火貯水槽を設置して、雨水を貯水し、坂が多い清水エリアの特性を活かしたサイフォンポンプの原理で屋外消火栓を利用できるようにしています。有事の時だけでなく、普段から市民の皆さまが打ち水や庭の水撒きに利用できるようにしておくことで、常にメンテナンスが行き届いた状態になっています。もちろん、清水エリアの街並みを損ねないよう、外観は木造の消火栓設備となっているので景観にもうまく溶け込んでいます。これは「防災とまちづくり」の一つの理想形で、生活に防災・減災が溶け込んでいるだけでなく、市民の皆さまにとっても普段から水が自由に使えるというプラスの価値を生み出しています。

**大窪 健之**  
理工学部 教授

#### Profile

京都大学工学部建築学科卒業後、京都大学大学院工学研究科修士課程修了。同大学大学院地球環境学堂准教授を経て、本学理工学部へ。本学歴史都市防災研究所所長。

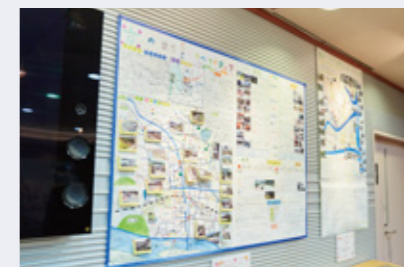
### TOPICS みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト

小学生を対象としたコンテストを開催して、地域の皆さまと防災について考える。

歴史都市防災研究所では、全国の小学生を対象に「みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」を実施しています。このコンテストでは、小学生が自分の身近な地域を調べ、安全と安心に関わるアイデアを地図にまとめて応募してもらっています。細部までしっかりと作り込んだ完成度の高いマップを応募してくる小学生も多く、大人では思いつかないような気づきやアイデアが毎回多数寄せられています。このような取り組みから地域の皆さまと一緒に「子どもの安全安心」について考え、防災教育を広める活動に取り組んでいます。



衣笠キャンパスに隣接する歴史都市防災研究所には応募されたマップが展示されています。



応募されたマップはどれも力作ぞろい。「国土交通大臣賞」を受賞した作品もあります。



第12回大会の募集チラシ。リピーターの応募者もいるなど盛り上がりを見せています。

### 危機に晒される世界の文化遺産。 日本への期待はますます高まっている。

#### ——このような防災研究は世界的にも注目されているそうですね。

世界中に文化遺産は存在しているので、日本のように災害が多い地域の優れた防災・減災のシステムを学びたいという人は後を絶たない状態です。本研究所では2005年より、立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」という国際研修を実施していますが、10～15名ほどの募集に対して、200名以上の応募があるような状態です。最近ではネパールで発生した地震により、ユネスコに登録されている世界遺産が甚大な被害に遭ったのを受けて、私も現地に赴き、危機管理計画のベース案を作成するなど、国際協力に取り組んでいます。

### ネガティブな印象を払拭して、 防災で一つになる街を目指して。

#### ——防災とまちづくりの未来はどうあるべきなのでしょう。

災害に対してはマイナスのイメージが強いので、社会に浸透しにくく、マイナスのものをゼロに近づけるのがせいぜいだと思います。しかし、私が考える防災とまちづくりの理想形は、日常に溶け込み、人々の暮らしにプラスの価値を生み出すことだと思います。大規模災害の時などは人と人とのつながりやコミュニティが極めて重要になってきますが、有事の際にだけ絆を求めて

もなかなかうまくいきません。例えば、防災訓練を通じて地域に住む老若男女が交流を深めることで、日常の中に地域のつながりを生み出し、それが結果的に防災や減災につながっていくというような仕組みを作り出したいと考えています。街並みづくりにおいても、防災や減災への備えは邪魔なもののように考えられてきましたが、清水エリアのように街並みの文化的価値を損なわずに災害に強いまちづくりを実現している事例もあります。逆説的ですが、防災・減災への取り組みを通じて、美しいまちづくりを実現することもできるはずだと考えています。残念ながら災害をゼロにすることはできないので、私たちは災害と共に生きるしかありません。それならば、京都の歴史都市のように災害と共に歩んできた先人の知恵に学び、よりよい未来を考えることが必要なのではないでしょうか。



もともとは建築が専門だが、阪神淡路大震災をきっかけに災害に強いまちづくりについて研究始めた大窪先生。災害安全性と歴史文化価値との両立方法を追究している。



若柳流の日本舞踊家として活動中

# 父の背中を見て日本舞踊の世界へ。 京都と東京を主な活動拠点に、 舞踊界を盛り上げていきたい。

日本舞踊 若柳流  
若柳 佑輝子さん  
2014年3月文学部卒業  
京都府出身



## Profile

日本舞踊若柳流四世家元若柳壽延の長女として誕生。幼少期より日本舞踊を習い、立命館大学在学中に日本舞踊家として歩むことを決意。数々の舞台に出演しながら講師活動にも取り組んでいる。

## 何事にも全力の仲間から、刺激を受けた学生時代。

日本舞踊家の娘として生まれ、幼少期より日本舞踊に親しんできましたが、小学校からサッカーに打ち込むスポーツ少女だった私にとって、日本舞踊はあくまでお稽古ごとの一つという感覚でした。京都で生まれ育ったので立命館大学には憧れがあり、他の多くの学生と同じように大学で自分の関心分野について学びながら、将来の進路について考えようと思って入学しました。

立命館大学では歌舞伎や日本舞踊に出てくる伝統的な「言葉」についても学べる文学部を選び、言語コミュニケーションプログラム（現・言語コミュニケーション専攻）に所属して、人と人とのコミュニケーションについて様々な角度から学んでいました。言葉のプロフェッショナルを目指す学生もいるのでアナウンサーの原稿を読む授業があったり、クラスメイトの前でプレゼンテーションをしたり、実践の場が多かったように思います。私は人前で話すことにあまり自信がありませんでしたが、先生が「ゆっくり話すのはあなたの個性」と認めてくれたのがうれしかったのを覚えています。

思い出に残っているのは学園祭で人気アイドルグループの物まねをしてステージに立ったことです。単なる余興ではなく、いわゆる「ガチ真似」を目指していて、学園祭でのステージだけでなく、単独ライブをこなすほど人気がありました。流行りのアイドルグループのダンスでも、私が踊ると、どこか日本舞踊のように見えてしまうのは不思議でしたね（笑）。学園祭のライブや模擬店、そして、普段の勉強や課外活動など、立命館大学の仲間はどうなにも一生懸命で、そんな友人たちからいつも刺激を受けながら学生生活を送っていました。

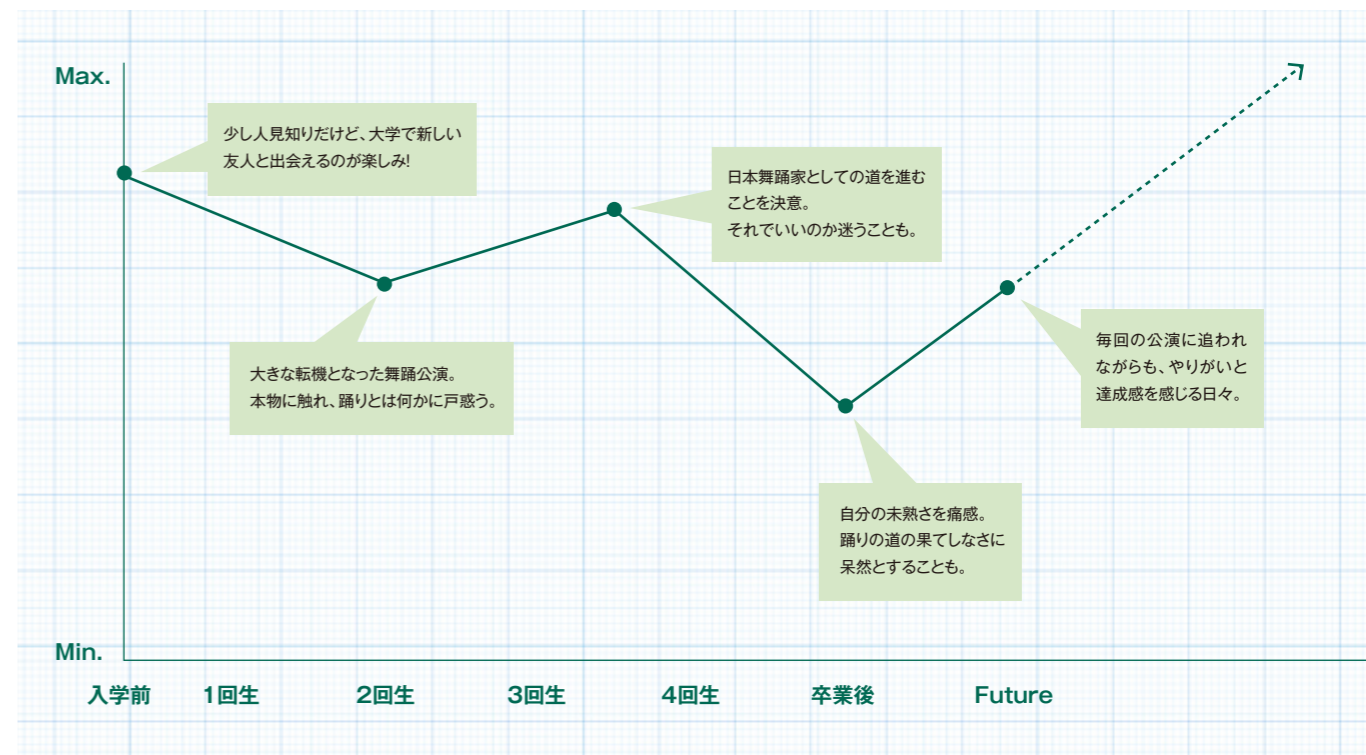
## 自らの意志で日本舞踊の世界へ。誰もが認める「本物」を目指して。

そんな私の転機となったのは、2回生の時に出演した舞踊公演でした。それまで日本舞踊の手ほどきは主に伯母から受けていたのですが、大きな舞踊公演だったので、この時に初めて家元である父から本格的な指導を受けました。日本舞踊家としての父と正面から向き合ったことで、本物の踊りの世界を初めて垣間見た思いでした。また、大きな演目を全うできた達成感があった一方、若柳流を父が一人で支えていくのがどれほど大変なことなのかを実感した機会でもありました。憧れていたホテルや旅行業界に就職するのではなく、日本舞踊家としての道を選んだのは、おこがましいのですが、父の助けになりたいという思いもありました。

現在は東京の先生に師事しており、様々な舞踊公演に出演しながら時折は講師の仕事も務めています。ありがたいことに大きな舞台にもお声がけいただいております。京都や東京を中心に、時には海外でも踊りを披露させていただいています。この世界ではご高齢でも現役の方が多く、私はまだ駆け出しですが、各地で活躍する日本舞踊家の皆さまの中には若くしてがんばっている方もたくさんいるので刺激を受けています。私もいつまでも若手のポジションに甘えるのではなく、教える側の人間として、あるいは他流にも認められるような日本舞踊家として、人格、技量ともに磨いていきたいと考えています。

京都を拠点とする立命館大学の保護者の皆さまにとって、日本舞踊と接する機会は身近にあると思いますので、ぜひ一度舞台に足をお運びいただけたらうれしい限りです。

## 紆余曲折グラフ



あるある

●第3回MISSION●

大阪いばらきキャンパスの  
里山エリアを調査せよ

立命館大学の中でも最も新しく、  
おしゃれで都会的な大阪いばらきキャンパスの中に、  
なぜか里山エリアがあるとの情報を得た。  
岸本隊員がその調査に向かった。

PROFILE



岸本 京 隊員  
産業社会学部 4回生  
すっかりおなじみになった岸本  
隊員も今年で卒業のため今回  
が最後のレポート。探検隊の使  
命は頼れる後輩に託します。



実はこれは  
町と共生する  
プロジェクト!

「いばらきの里山」をキャンパスに。  
市民・学生・教職員共同プロジェクト。

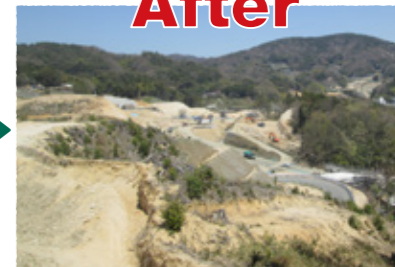
茨木市・千提寺の里山は、高速道路の  
建設や山間部の人口減少により急速  
に失われつつあります。「育てる里山  
プロジェクト」では、里山から苗木を採  
取し、大阪いばらきキャンパスに移植  
する活動を進めています。

育てる里山プロジェクト

Before



After



茨木市千提寺周辺の緑豊かな里山が高速道路の建設などで失われてしまう…。

そこで



里山の樹木を退避して



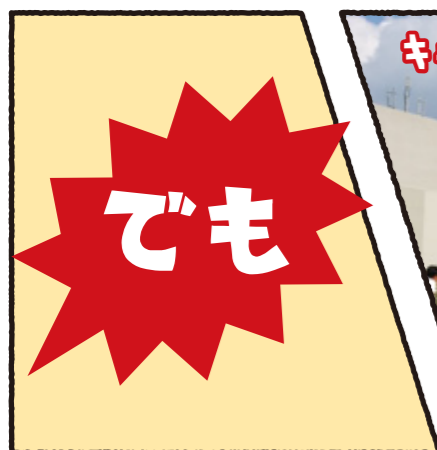
キャンパスの土壌を改良し



里山エリアに苗木を移植



緑豊かな里山エリアが誕生!



みんな 何してるの?



今回の発見

立命館大学は  
地域とつながり  
共に歩んでいる!

プレゼントクイズ

Q. 左ページで岸本隊員が「都会的!」と紹介している場所は、父母教  
育後援会の寄付によって誕生しました。さて、この場所の名前は?

ANSWER

○のプラザ

ヒント 漢字1文字です。



こちらのボールペンを  
プレゼント!

応募は  
Webから!



お知らせ

岸本隊員が卒業! 2代目は関隊員へ!

ありがとう  
ございました!



1年間、探検隊の隊員を務め  
させてもらって、知らなかつ  
た立命館の魅力を再発見で  
きてとても楽しかったです!

Webで  
岸本隊員からの  
メッセージを  
配信!



岸本隊員が卒業のため、  
次号からは新たに関 倫花さんが新隊員を務めます!



新隊員・関 倫花さん

魅力再発見!

# 父母教育後援会の活動紹介

1992年に設立された父母教育後援会は、全国の保護者の皆さまと連携し、大学や学生を支援するための様々な活動を行っています。ここではその取り組みについてご紹介します。

## 学生支援

年間約10万食!

### 100円朝食



全国の大学に先駆けて始まった100円朝食は、学生の規則正しい生活を促し、朝から大学で学習する習慣が付くなど、健康面だけでなく教育面でも効果を上げています。

キャンパス内に医療スタッフが常駐

### 保険診療費補助



立命館大学では各キャンパス内に保健センターを設置し、医師や看護師が学生の病気の診察・治療に対応しています。医療費の自己負担額は父母教育後援会が補助しています。

## 情報発信

春・夏・冬の年3回

### 会報の発刊



会員の皆さまのもとに年3回お届けしている会報では、日々の学生の活動、立命館大学の知的トピックス、父母教育後援会の様々な取り組みなどを紹介しています。

動画コンテンツも充実!

### Webサイトの運営



父母教育後援会のWebサイトは、教員による知的連載コラムや様々な動画コンテンツなど、オリジナルコンテンツが充実しています。ぜひ一度アクセスしてください。

## 古本募金のお願い

お電話一本で  
ご自宅まで  
集荷します!

読み終えられた書籍(CD、DVDなどを含む)がありましたら、寄付にご協力をお願いします。その買取額を東日本大震災など自然災害の復興支援活動のための寄付金とします。お電話一本でご自宅まで配送業者が集荷に参ります。詳しくは同封のチラシをご覧ください。



詳しくはこちら

## イベント

全国の都道府県で開催する

### 立命館大学1日キャンパス



各都道府県会場で開催する立命館大学1日キャンパスは、立命館大学の学生支援や現状と未来について知る絶好のチャンスです。ぜひお近くの会場までお越しください。

多様な分野の専門家が講演

### アカデミック講演会



立命館大学1日キャンパスの全会場でアカデミック講演会を実施しています。各分野の専門家である講師が、わかりやすく研究分野に関する模擬講義を実施します。

立命館の知に触れるツアー

### アカデミックウォッチング



立命館大学の知に触れる探索ツアーを実施しています。教員によるミニ講義や歴史の舞台となった名所巡りなど、普通の旅行とは異なる知的ツアーとなっています。

3キャンパスの学園祭にご招待!

### 秋のオープンカレッジ



保護者の皆さまを学園祭にご招待します。ステージや模擬店など学生の催しを見られる他、保護者の皆さま向けのキャンパスツアーも実施しています。

## 立命館ファミリー

お子さまの卒業後もつながる絆

# 卒業生父母の会

卒業生父母の会は、お子さまのご卒業後も立命館大学と保護者の皆さまとの絆をつなぐ会です。会員の皆さまには学生を支援していただくと共に、イベントや各種媒体で立命館大学と知的交流をする機会を設けています。

#### POINT1

### 学生を支援。

「学生を応援したい」という想いを形にするのが卒業生父母の会です。皆さまからのあたたかい支援は、立命館大学の学生の健やかな学びを支えるための大きな力になります。

#### POINT2

### 会員イベントが充実!

正会員の皆さまには、日本全国で開催されるアカデミック講演会や、京都・滋賀の知的名所を巡るアカデミックウォッチングなどのイベントに参加していただくことができます。

#### POINT3

### 会報誌を送付。

会員の皆さまには春・夏・冬の年3回父母教育後援会だより(会報)をお届けします。立命館大学の今とこれからのことについて知り、あたたかく見守ってください。

卒業生父母の会  
皆さまからの会費は  
保険診療費補助に  
使わせていただきます。



※詳しくはWebサイトをチェック!

## 家計急変奨学金

万が一の事態にも、  
会員の皆さまのご支援が学生を支えます。

父母教育後援会が行っている家計急変奨学金は、

学費を負担している会員の皆さまに万が一\*のことがあった場合、

**卒業年度までの学費を給付する(返済の必要はありません)** 全国的にも例のない画期的な制度です。

これは立命館大学に入学した学生が家計の急変により修学を断念することがないよう、

という強い思いで2015年度に制度の全面的な見直しをして実現しました。

制度の見直し以降、経済的な事由で**退学を余儀なくされた学生は一人も出ておりません。**

\*会員が死亡、または重度後遺障害により就労不能となった場合。

2015年度の制度見直し以降、  
奨学金受給者**172名**のうち

**退学者0名**

※2018年4月現在

## 受給者からの感謝の声

### 金銭だけでなく、心の支えに。

2回生の時に父が亡くなり、とても辛い経験をしました。精神的な辛さだけでなく、資金面にも不安がありましたが、このような奨学金があることで修学を続けることができると知り、ありがたく思っています。父と同じように支えてくれる人がいると思うと、精神面でも救われたように思っております。

### 母子家庭の母を亡くして。

癌で母を亡くしました。母子家庭でまだ幼い妹がいるので不安でしたが、生前の母が闘病中に家計急変奨学金のことを教えてくれていました。奨学金のおかげで修学を続けられるので心から感謝しています。卒業後は母も応援してくれた教師になるという夢を実現して、妹と2人で力を合わせて生きていきたいと思っております。

### 重度後遺障害で受給。

父が交通事故に遭い、重い障害を負いました。社会復帰が困難なため家計急変奨学金を申請させていただきました。なかなか心の整理がつきませんでしたが、父がリハビリ生活を送っているなか、今度は私が支える番だと思って前向きに学生生活を送っています。皆さまのあたたかいご支援に心から感謝しています。

## 災害支援奨学金

災害に遭われた方への  
支援を行っています。

近年、地震や台風などによる自然災害が増加しています。災害支援奨学金では、災害によって大きな被害を受け、修学を継続することが経済的に困難になった会員の学生に対する支援を実施しています。給付が認められれば、**当該学生の2学期分の授業料が給付されます。**  
(返済の必要はありません)

さらなる支え合いで  
より大きな安心を!



2019年4月開始!

# 父母教育後援会 卒業見守り共済(仮)誕生!

家計急変奨学金 は卒業年度までの学費が給付される画期的な制度ですが、

生活費や下宿代などの負担は大きく、学生は、無理なアルバイトのため、  
学業や健康にまで影響が出ている実態が明らかになってきました。

このような学生を救うため、**父母教育後援会が事業主体となって、  
生活費を給付するまったく新たな共済事業に取り組むこととしました。**

学生だけでなく、残されたご家族の負担や不安を  
少しでも軽減できるようぜひご加入をご検討ください。

## 3つの特徴

特徴  
**1** 掛け金わずか 月々**800円**

特徴  
**2** 掛け金の100倍の  
保障を実現 月々**8万円**

特徴  
**3** 修学困難な学生を  
会員同士で **支え合う**

## ■受給イメージ

家計急変奨学金 **学費免除** + 卒業見守り共済(仮) 月々**8万円**の生活保障 = **より大きな安心!**

卒業見守り共済(仮)は、**保険会社の商品ではなく、父母教育後援会が直接共済事業を行いますので、**  
会員の皆さまの負担は極力少なく、学生には大きな保障を実現しています。



日本の古代史、宗教史を研究する文学部の本郷先生が、  
びわこ・くさつキャンパスがある滋賀県・近江国の  
歴史にまつわる様々なエピソードをご紹介します。

# 近江の風土記

滋賀県琵琶湖の夕暮れ

## 第三シリーズ

### 古代・田上(たなかみ)の文化と産業

BKCの南に、新名神高速道路の草津田上インターチェンジがある。この田上という地名は、地域一帯の名称であると同時に、田上山という山岳地を示すものでもある。田上山は、標高599.7メートルの太神山を中心とする山地で、古代より近江の文化と産業に深く関わってきた。

そもそも、「太神」という用字より推し量られるように、頂上に磐座の巨石が所在する太神山は、「太陽の神」或いは「田の神」の山として崇められたが、仏教の普及に伴い、僧侶の修行の場としても栄えることになった。現在も頂上付近に不動寺という寺院が所在する。この寺院は太神山成就院と号し、不動明王を本尊とする。寺伝では、この山から三井寺(園城寺)に金色の光がさしたことから、円珍が入山して老翁に会い、その勧めで霊木より不動明王像を作り、貞観元年(859)頃伽藍を創建し安置したという。老翁は来住した天照大神で、空中より不動明王も示現したとされる。以後、三井寺系の天台修験の道場となり、現在も毎年9月22日より28日まで行われる大会式で護摩が焚かれ、勤仕する山伏と共に多くの参詣者で賑わっている。

巨石に接して設けられた不動寺の本堂は、中世後期の舞台造りの建造物で、国の重要文化財に指定されている。

文化的に古い歴史を有する田上の地域であるが、そればかりではない。産業の面でも、古代以来この地域は重要な展開を見せてきた。

まずは木材。琵琶湖を取り囲む近江の山地は、運搬の至便さという点からも、大和や山背に営まれた藤原京・平城京・平安京など、京都の建造物資材の供給地、杣として重視された。琵琶湖から瀬田川・宇治川を経由して山背へ、さらに木津川(泉川)を上って木津から大和盆地へと運ばれたのである。7世紀末の藤原宮造営に携わった役民の詠んだ万葉歌に、次のような一節が見える。

いはばしる 近江の国の 衣手の 田上山の 真木さく 檜の つまでを もののふの

八十字治川に 玉藻なす 浮かべ流せれ そを取ると 騒ぐ 御民も 家忘れ 身もたな知らず

田上には、山作所と称された伐採・製材の拠点が設けられ、東大寺や石山寺といった寺院の建築の際にも、資材調達の現地事務所として機能していた。無論、近隣には、これを生業とする技術者が多く居住していたことが想定される。なお、この地域の山には、現在でも遠望すると山肌が露出している所が多く見受けられるが、乱伐がその原因の一つとも言われている。

一方、田上の地域を流れる田上川(現・大戸川)が瀬田川に合流する地点に所在した谷上浜には、田上網代と呼ばれた漁場があり、平安時代には、収穫した氷魚(鮎の稚魚)を朝廷に献上していた。その歴史は極めて古く、『日本書紀』には、5世紀末の雄略朝に「谷上浜」に「川瀬舎人(かわせのとねり)」を置いたという記事があり、網代の管理者と見る向きが強い。

2018年度春号に取り上げた、BKCの木瓜原遺跡などに見られる鉱業・金属加工業と共に、この地域のさまざまな産業が、朝廷を支えていたのである。



Webで連載企画を 毎月更新中!



文学部 本郷 真紹教授  
専門分野:日本古代史

## 立命館大学からのお知らせ

### 2018年度卒業式のご案内

	2019年3月20日(水)	2019年3月21日(木・祝)	2019年3月22日(金)
キャンパス	衣笠キャンパス	大阪いばらきキャンパス	びわこ・くさつキャンパス
式典会場	京都衣笠体育館	グランドホール(B棟2階)	BKCジム
家族会場(中継)	以学館1・2号ホール	372教室(C棟3階)	卒業生と同じ式典会場へお入りいただきます
対象学部	10:00~ 産業社会学部、映像学部 12:30~ 文学部 14:30~ 法学部、国際関係学部	10:00~ 経営学部 12:00~ 政策科学部	10:00~ 情報理工学部、薬学部、 生命科学部 12:30~ 経済学部、 スポーツ健康科学部 14:30~ 理工学部

※車椅子でのご来場・手話通訳等をご希望の場合は、大変恐れ入りますが予め所属学部の事務室へご連絡ください。  
※衣笠キャンパス、大阪いばらきキャンパスでは、ご家族の方は「家族会場」へご案内いたします。家族会場では、式典の様子を映像でご覧いただけます。予めご了承ください。

※式典は、約1時間の予定です。  
※本学には駐車場はございませんので、各キャンパスへは、公共交通機関でお越しください。  
※キャンパス内は、全面禁煙です。キャンパス周辺での路上喫煙もご遠慮ください。

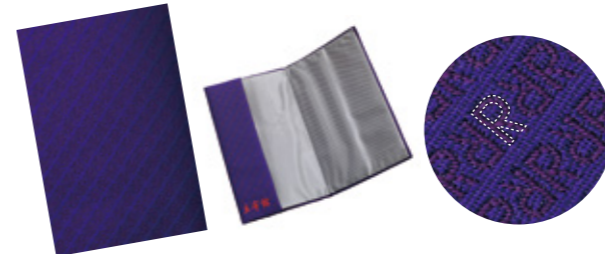
### 保証人宛成績通知表のWEBシステム導入・郵送取り止めについて

今年度秋学期分の成績通知(2019年3月末)より、保証人が学生の成績通知表をWEB上で閲覧できるシステムを導入します。以後、成績通知表の郵送については取り止めとします。詳細は右記ページでご案内していますので、ご参照ください。



立命館大学 WEB成績閲覧システム

## 父母教育後援会からのお知らせ



### 卒業生に袱紗をプレゼント。

新社会人になる卒業生に、毎年父母教育後援会より卒業記念品としてオリジナル袱紗を贈呈しています。衣笠キャンパスがある京都の「西陣織」で作られており、慶事や弔事の両方に利用できます。よく見ると生地には「R」のロゴが織り込まれています。

## 校友会からのお知らせ

### 会報「りつめい」を同封。

3回生以上(薬学部薬学科は5回生以上)の会員の方には、立命館大学校友会が発刊している会報「りつめい」を同封しました。校友会は約36万名の立命館大学卒業生で構成されており、地域や職域、学部・学科やクラブ・サークル単位など、世代を越えたネットワークを築いています。ぜひ会報「りつめい」で、立命館大学校友会の魅力を感じてください。

### 立命館大学校友会HP

<https://alumni.ritsumei.jp/>

※会報「りつめい」バックナンバーも閲覧できます。